

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 13 日作成)

小委員会名	スマート建築モニタリング応用小委員会	主 査 名：谷 明勲 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>【設置目的】 建築の計画、施工、運用、維持管理等の各段階で建築の各種情報をモニタリングするシステムに関して、構造、環境、計画の各分野、および研究、実務分野それぞれの視点から分野横断的に整理し、技術動向の調査やスマートシティへの応用性について、より実践的な検討を行うことを目的とする。</p> <p>【各年度活動計画】</p> <p>2013年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会を年 4 回開催し、必要に応じて見学会を開催する。 ・ 2013年度日本建築学会大会で、感性システムデザイン研究小委員会と合同のオーガナイズドセッションの設置と研究発表を実施 ・ 情報システム利用技術シンポジウムにおける「スマート建築モニタリング」セッションの設置と研究発表の実施 ・ センサワークショップの開催 <p>2014年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会を年 4 回開催し、必要に応じて見学会を開催する。 ・ 情報システム利用技術シンポジウムにおいて、他の小委員会と連携した研究集会またはオーガナイズドセッションの実施 ・ センサワークショップの開催 ・ 他学会と連携した研究集会の開催 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：谷 明勲 (神戸大学) 幹事：遠田 敦 (東京理科大学) 倉田成人 (鹿島建設) 山邊友一郎 (神戸大学) 委員：加賀有津子 (大阪大学) 白石理人 (清水建設) 新宮清志 (日本大学) 杉本照彦 (竹中工務店) 登川幸生 (日本大学) 長尾嘉満 (早稲田大学) 中川 純 (レビ設計室) 西本賢二 (ベーターリビング) 林田和人 (早稲田大学) 藤本郷史 (宇都宮大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	110,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/m-000/m040-12.html

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	1. 第36回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・ 小委員会企画OS「建築・人間とモニタリング」 参加者数 7 名 『第36回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
大会研究集会	1. 研究協議会：建築におけるセンシングからビッグデータまでを考える 『情報システム技術部門研究協議会資料：同上』 参加者数 94 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>目標達成度：80%</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会は、4回開催（4回目は2014年3月5日開催予定） 2. 大会学術講演会でOSセッションを設置し、発表（発表件数2件）を行った。 3. 2013年度の情報システム技術委員会主催の研究協議会「建築におけるセンシングからビッグデータまでを考える」の企画、運営、資料作成を小委員会で行い、研究協議会資料の主題解説（委員会報告）や寄稿集に関連する最新の情報や、各委員の研究成果がまとめられた。（資料部数169部(完売)、価格：2,300円、ページ数：93ページ） 4. 各委員のOSHWの使用状況について報告し、意見交換を行った。 5. 新委員の研究内容の報告とディスカッションの実施 6. 第36回情報・システム・利用・技術シンポジウムで、小委員会主催のOSセッションを設置し、発表を行った。 7. 本年度は、センサワークショップ開催を予定していたが、大会研究協議会の準備のため、本年度のワークショップの開催は中止した。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性能モニタリング技術の最新動向に関して、センサメーカー等に話題提供を依頼することを検討している（オブザーバー参加）。 2. 来年度も、引き続き委員（環境分野）の追加を図る。
<p>その他</p>	